

公民館と併用して児童館の活用は



藤井 精七 議員

施設整備を検討したい



三神公民館

羽鳥幹線水路上部の
利用計画の進み具合は

堤公民館建設の計画は

藤井 事業の良し悪しで、
町の中の景観、又町全体に
及ぼすイメージもはかり知
れないものがある。

藤井 堤公民館は古い建
物である。町民から不公平
だとの声も聞かれる。

矢吹町のイメージアップ
につながる事業になるよう
取り組むべきと思うが、現
在の計画等はどこまで進ん
でいるか何う。

早期に建設して欲しいと
の声が多いと思うが取り組
み状況を何う。

町長 パイプライン布設
上部の利用計画については、
隈戸川農業水利事務所や矢
吹原土地改良区と事業調整
を図っている。

町長 町内の各集会所は、
現在32ヶ所あり、いずれも
平成18年4月から指定管理
者制度移行により、各行政
区により管理運営されてい
る。

まちづくり総合計画の主
要事業に位置づけられてお
り、町民の意見を取り入れ
た住民参加による道路整備
を図りたい。

堤集会所は、昭和40年代
に行政区により建設され、
老朽化が進み、地域住民よ
り早期建設の強い要望が継
続的に出されている。

また、整備計画の規模と
しては、延長約2700m、全幅
員約5m（車道幅員4m）
で、当該構造物に悪影響を
及ぼさないように重量規制
等に考慮する。

これに伴い、昨年11月
に堤行政区役員と堤集会所
建設委員に対する説明を行
い、平成22年度建設実現に
向けて努力していくことに
理解を得た。

三神公民館と併用して
児童館としての活用は

藤井 町長は子育て支援
に、大きな力を注いでいる。

三神小児童クラブ設置後、
半年で、児童館の話か、と
思われるかもしれませんが、
児童館と児童クラブを公民
館で併用してできると私は
考えておりますが、町長の
考えは。

町長 三神小児童クラブ
は、平成15年度から中畑小
と合同で、19年度からは三神
公民館において単独で実施。

現在、1年生から3年生
までの18名を預っている。
第5次矢吹町まちづくり
総合計画には、児童館整備
事業は掲げていないが、
「児童館の機能を合わせも
つ施設整備などを検討する」
としてあるので、検討して
いかなければならない。

町政を問う



棚木 良一 議員

新医療制度への対応は

均等割が軽減予定

後期高齢者医療制度の問題点と町の対応は？

棚木 国や自治体からの補助が5割、各医療保険からの拠出が4割となり、残りの1割を後期高齢者からの保険料で賄う制度。高齢者の人口増に伴って、医療費が上がれば高齢者自身の保険料の値上げか、医療水準の引下げか、という問題がある。町の対応は？



若がえり教室（健康づくり）

町長 同制度における保険料については、後期高齢者医療広域連合において医療費及び保険料推計の準備を進めている。低所得世帯に属する方の保険料は国保税と同様に均等割が軽減される予定になっているが、具体的な保険料率、保険額等についてはお答えできる状況にないので、理解をお願いしたい。

住民税増税に対する町の救済策について

棚木 定率減税廃止と税源移譲で福島県では約250億円増収、矢吹町ではどの位になるのか？

定率減税廃止で住民税と国保税の増税には、何とかならないか、余りにもひど過ぎるという声が起きている。町として、これらの救済策を考えているのか？

町長 本年度の町民税調定額は、対前年比で約2億円増加した。

国の税負担増の救済措置として、税源移譲により増税となる世帯で19年の所得が課税最低限を下回った場合には還付を受ける制度がある。

また住宅ローン控除については、所得税で控除できなかった分を翌年度分の個人住民税所得割から特別に税額を控除できる。

このように国により軽減がなされているので、町独自の救済策は、考えていない。

県立高校普通科全県一学区制、教育長の考えは？

棚木 県立高校の全県一学区は、新たな学校間競争と教育の格差を広げることになり、子どもたちに及ぼす影響が大きい上、さらに高校統廃合につながる恐れもあり実施は見送るべきと思う。

教育長として、どのように考えているか？

教育長 本件については、今年5月30日に県学校教育審議会から県教育長に対し、「県立高校普通科の通学区域は全県一円とするのが適当」とする答申があった。

その主な理由は、総合学科や専門学科と同じくバランをとる必要がある等である。

しかし、学校間格差や序列化の進行及び通学距離増加による経済的負担増等の弊害が明らかに起きているのであれば、導入についてはいかなるものかと考える。